

令和元年 5 月 15 日

各 位

所在地：東京都文京区弥生二丁目 1 1 番 1 6 号  
(東京大学大学院工学系研究科総合研究機構内)

団体名：一般財団法人 情報法制研究所

代表者：理事長 鈴木 正朝

URL：<http://www.jilis.org/>

## 「捜査関係事項照会問題研究タスクフォース」の設置について

一般財団法人情報法制研究所（東京都文京区、理事長：鈴木正朝、以下 JILIS）は、「捜査関係事項照会問題研究タスクフォース」を設置しましたので、お知らせいたします。

### 一般財団法人情報法制研究所 JILIS（ジリス）とは

Japan Institute of Law and Information Systems の略で、正式には「一般財団法人 情報法制研究所」といい、2016 年に情報法制に関する研究と政策提言を目的として設立された研究組織です。学を中心として政官産民の連携を図りながら、日本の将来を見据えた合理的な政策提言を行う実践的な活動を行うことを目指しています。

なお、JILIS 評議員及び理事有志が発起人となって 2017 年に「情報法制学会」（ALIS）が設立されました。研究者による学術研究団体であり、学会誌『情報法制研究』（有斐閣）を年 2 回発行しています。JILIS とは姉妹団体になります。

なお、ここで「情報法制」とは、法学分野に限定することなく、情報工学、経済学、経営学、政治学、社会学、情報学、教育学といった広い視点から学際的に「情報に関する政策論」も射程に入れた広い意味を込めて使っています。

2019（令和元）年5月1日  
一般財団法人情報法制研究所

## 捜査関係事項照会問題研究タスクフォースの設置について

### 1. 設立趣旨

警察の犯罪捜査において令状によらず、捜査関係事項照会により民間企業の保有する顧客データベース上の個人データ（処理情報）等を本人の同意なく第三者提供していることが大きく報道されたことで、その適法性が問われるとともに、それを不安視する声も広く聞かれるようになった。

また、報道後は、一転して捜査関係事項照会を拒む企業が出てくるなど一部に極端な対応がみられるようになり、犯罪捜査に支障が生じることを危ぶむ声もあがっている。

その他、EU 一般データ保護規則（GDPR）における充分性認定の維持や今後の対応にも影響が及ぶことを懸念する意見もあるなど、国内法に止まらず、個人データ保護法における国際的調和の観点からも検討が必要となっている。

そこで、情報法制研究所（JILIS）では、本問題を検討し、企業における捜査事項照会対応実務の問題を解決するため、産官学民のメンバー構成による研究タスクフォースを設置し、企業実務上の課題、捜査関係上の課題を踏まえながら法的論点を整理し、その基本的考え方を示すべく取り組むこととした。

\* 6月上旬までに2回開催、その後も開催しできるだけ早く成果を公表することを目指す。

### 2. アウトプット

- (1) 6月15日（土）に東京大学（本郷）で開催される第3回 JILIS シンポジウムにおいて本問題のパネル（90分）を企画し、そこで中間報告を兼ねて論点整理案を公表する。
  - (2) 報告書をとりまとめ JILIS ホームページ等を通じて公表する。また、あわせて企業向けに捜査関係事項照会への対応ガイドラインを公表する。
  - (3) 必要に応じて、説明会（セミナー）を企画し開催する。
- なお、上記の活動は適宜プレスリリースする。

### 3. 名簿

\* 企業等の本TFへの途中参加を認める。

#### ■主幹理事

鈴木 正朝（すずき まさと）

JILIS 理事長・新潟大学教授・理研 AIP

#### ■関与理事（五十音順）

江口 清貴（えぐち きよたか）

JILIS 専務理事

宍戸 常寿（ししど じょうじ）

JILIS 理事・東京大学教授

曾我部 真裕 (そがべ まさひろ)  
JILIS 理事・京都大学教授

高木 浩光 (たかぎ ひろみつ)  
JILIS 理事

名和 利男 (なわ としお)  
JILIS 理事・サイバーディフェンス研究所

## ■関与参与

板倉 陽一郎 (いたくら よういちろう)  
JILIS 参与・弁護士

## ■メンバー (五十音順)

稲谷 龍彦 (いなたに たつひこ)  
JILIS 上席研究員・京都大学 准教授

加藤 尚徳 (かとう なおのり)  
JILIS 上席研究員・神奈川大学非常勤講師

亀井 源太郎 (かめい げんたろう)  
JILIS 上席研究員・慶応義塾大学 教授

生野 聡 (しょうの さとし)  
JILIS 上席研究員・弁護士

鶴巻 暁 (つるまき あき)  
JILIS 上席研究員・弁護士

長田 三紀 (ながた みき)  
JILIS 上席研究員・情報通信消費者ネットワーク

新美 融 (にいみ とおる)  
JILIS 研究員

星 周一郎 (ほし しゅういちろう)  
首都大学東京 法学部長・法学政治学研究科長

丸橋 透 (まるはし とおる)  
JILIS 上席研究員・明治大学法学部 教授

## ■オブザーバ（五十音順）

笠松 浩智（かさまつ ひろのり）

株式会社オリエントコーポレーション リスク統括部 情報セキュリティ室 課長

坂 明（さか あきら）

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 チーフ・インフォメーション・セキュリティ・オフィサー（CISO）

（北海道県警本部長、兵庫県警本部長など歴任）

笹川 豪介（ささがわ ごうすけ）

LINE 株式会社 セキュリティセンター 情報セキュリティ室 プライバシー戦略チーム

島根 悟（しまね さとる）

日本サイバー犯罪対策センター（JC3）理事

（警視庁副総監、神奈川県警察本部長など歴任）

## ■メンバーまたはオブザーバ

関心のある事業者に依頼する。

以上

## 連絡先

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17番17号 AIOS 永田町312号

一般財団法人情報法制研究所

電話 03-6205-8183（代表）

E-mail: [jilis@jilis.org](mailto:jilis@jilis.org)（事務局）

URL: <https://www.jilis.org/>

(参考)

一般財団法人情報法制研究所 (JILIS) 主催

## 第3回情報法制シンポジウム

1. 日 時：2019年6月15日(土) 10:00～(開場：09:30)
2. 会 場：東京大学 伊藤国際学術センター 地下2階 伊藤謝恩ホール
3. 共 催：情報法制学会 (ALIS)
4. 参加費：無料(なお、「交流会」のお申込の場合は、別途参加費あり)
5. 申込み：<https://www.jilis.org/events/2019/2019-05-18.html>

### ◆◆◆ プログラム ◆◆◆

司会：庄司 昌彦 (武蔵大学教授、情報法制研究所上席研究員)	
10:00～	開会挨拶 鈴木正朝 (情報法制研究所理事長・新潟大学教授・理研 AIP)
10:05～11:15 (70分)	報告「海賊版サイト対策と静止画ダウンロード違法化問題」 小島 立 九州大学准教授 ・報告 (55分) 質疑応答 (15分)
11:20～12:30 (70分)	報告「コインハイブ事件横浜地裁無罪判決」 平野 敬 弁護士 ・報告 (55分) 質疑応答 (15分)
昼食・休憩 (12:30～13:50)	
13:50～15:20 (90分)	<u>捜査関係事項照会問題研究 TF 報告 (主幹理事：鈴木正朝)</u> <u>パネル「捜査関係事項照会の企業対応：論点整理案」</u>
15:20～15:30	休憩 (10分)
15:30～16:10 (40分)	資金決済法研究タスクフォース報告 (主幹理事：江口清貴) ほか
16:10～16:20	休憩 (10分)
16:20～17:50 (90分)	秘密計算技術応用研究 TF 報告 (主幹理事：高木浩光) パネル「個人データの秘密計算による統計利用」 高木浩光×板倉陽一郎ほか
17:50～17:55	閉会挨拶 江口清貴 (情報法制研究所専務理事)

### 交流会 (事前申込・事前振込制)

18:00～19:30 伊藤国際学術センター 地下2階 伊藤謝恩ホール横多目的ホール

・懇親会費 [ 一般 5,000円 学生 3,000円 JILIS/ALIS 会員 4,000円 学生会員 2,000円 ]